

東 部 地 域 局 通 信

第27号

2024. 3. 21

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。

東部地域局通信は、静岡県東部の14市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。世界文化遺産である富士山や、ユネスコ世界ジオパークの伊豆半島、世界農業遺産の「わさび」など、世界に誇る地域資源に恵まれている東部地域の魅力をお届けしています。来年度も引き続き東部地域局通信を発行してまいりますので、是非御覧いただけますと幸いです。



次世代の防災リーダーを育成／ 『防災出前講座』を開催しました



東部地域局では、令和6年度の1年間で106回の防災出前講座を実施しました。小・中・高・特別支援学校の児童・生徒・教職員が中心ですが、社会人を対象とした防災講座も実施しています。防災教育は、「〇〇をしないと××になりますよ」というような、「脅しの教育」になりがちです。東部地域局ではクイズを出題するなど、時には前向きに楽しみながら学び、災害を自分事として考えてもらえるような講座を実施しています。そして、過去の災害から得られる教訓を、丁寧に伝えていくことを大切にしています。



【column】

過去から学び未来を創る — 『災害関連死』は救えたはずの命—

避難生活による健康状態の悪化等が原因で亡くなる、いわゆる「災害関連死」と認定された死者の数は、令和6年能登半島地震で298人、東日本大震災で3802人、熊本地震で222人にも上りました。なぜ災害関連死はなくなるのか。その原因の一つとして、冷たく固い体育館の床に雑魚寝をする、半世紀以上変わっていない避難所環境が挙げられます。新潟大学榛沢特任教授によれば、ベッドの使用率が高くなるほど、エコノミークラス症候群の原因となる血栓の発生率が低くなります。過去の災害から学び、災害に負けない強い社会にしていくために、東部地域局では防災出前講座を続けていきます。

(担当:植田)

帰宅困難者対策を実施しています チラシをリニューアルしました

詳しくは
こちら→



大規模地震発生時には、外出先等で帰宅が困難な状況になる方(いわゆる「帰宅困難者」)が多く発生すると想定されます。帰宅困難者が一斉に移動すると、二次災害に巻き込まれたり、緊急車両の通行を妨げる渋滞の発生原因になるなど、人的被害の拡大が懸念されることから、帰宅困難者の一斉帰宅を抑制する必要があります。

今回、チラシをリニューアルしました！大規模地震が発生する前に個人、企業・団体の管理者の方などは是非確認しておいてください。

(担当:小林)





TOUKAI-0 無料の耐震診断を1年延長します！



TOUKAI-0では、昭和56年(1981年)5月以前に建てられた木造住宅の無料の耐震診断や耐震補強工事の補助金の交付を行っています。無料の耐震診断は令和6年度で終了の予定でしたが、令和7年度まで延長されました。(実施しない市町がありますので、お住まいの市町にお問い合わせください。)

まだ御自宅の耐震化について踏み切れていない方は、無料の耐震診断や補強工事を是非御検討ください。また、耐震化が難しい場合は耐震シェルターや防災ベッドの設置の補助金もありますので、命を守る対策をお願いします。



TOUKAI-0について詳しくはこちらを御覧ください。→
お問合せはお住まいの市町にお願いします。



(担当:野沢)

＼東部地域の魅力を伺いました／ アスクラロ沼津 齋藤学選手

さいとう まなぶ

齋藤学選手

インタビュー記事の全文はこちらに掲載しています→



東部地域を拠点に活躍するプロスポーツチーム・選手に御協力いただき、地域の魅力を発信する企画「東部地域×スポーツ」。

今回は、2024年シーズンからアスクラロ沼津に所属している元日本代表の齋藤学選手にインタビューを行いました。

インタビューでは、プロアスリートの観点から、天気や気候、温泉などの生活環境についての東部地域の良さや、選手・チームとしての目標、地域との交流について語っていただきました。

インタビュー内容は東部地域局公式ホームページにて公開しています！
(担当:望月勇)

「まち・ひと・しごと新聞 第9号」 を発行しました

東部地域局では、東部地域の高校生が地域の企業取材し新聞を製作する「まち・ひと・しごと新聞」の発行・配布に協力しています。この度、「地域の脱炭素に取り組む企業や団体」をテーマとした第9号を発行しました！高校生の思いや、東部地域の魅力が詰まった新聞になっています。是非御覧ください。
(担当:望月勇)

詳細はこちら→



参加高校	取材先	主な取組
沼津東高校 新聞部	株式会社 日弘商会	工場での太陽光発電など脱炭素に積極的に取り組んでいる。
韮山高校 写真報道探究部	山本建設 株式会社	建設業の立場からエコアクション21など環境への取組をいち早く推進している。
日大三島高校 新聞部	土肥観光活性化 株式会社	世界初となる「オフグリッド型居住モジュール」を開発した。
熱海高校 総合探究メディア班	株式会社 未来創造部	「未来炭化ユニット」や土壌改良剤などを活用しカーボンニュートラルに取り組んでいる。





静岡県の文化財をエミー賞監督が撮影 海外向け文化財PR動画を制作！

県では、観光資源の代表である文化財と、文化財が作り出す風景をテーマに、海外向けのPR動画を制作しています。監督には、アメリカのテレビ番組における世界最高峰の賞「エミー賞」の受賞経験がある映画監督兼写真家のシビラ・パトリシアさんを迎え、外国人の視点から文化財の魅力を発信します。伊豆半島でも、「新井旅館(伊豆市)」や「ユウスゲ公園(南伊豆町)」などで撮影が行われました。

約1分の文化財紹介動画5本、約20秒のイメージ動画4本をそれぞれ英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語バージョンで制作されます。完成した動画は県広報媒体等で発信予定です。



新井旅館での撮影



撮影スポット



新井旅館 (伊豆市)



明治5年創業の老舗旅館。建物15棟が国の有形文化財に登録されています。安田靱彦や芥川龍之介、正岡子規など多くの画人・文人が訪れています。



ユウスゲ公園 (南伊豆町)

奥石廊に群生するユウスゲを一望できる公園。7~8月の夕暮れから翌日午前中までしか咲かない美しいユウスゲの幻想的な雰囲気が楽しめます。



(担当:駒谷)



富士地区の景観紹介



富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス

「富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス」は、**R6 景観賞最優秀賞受賞** 富士箱根伊豆国立公園の田貫湖畔に位置する環境省が再整備した富士山を望むための展望テラスです。整備に当たっては、展望テラスの角度を既存より4°北側にふり、30cm高さを下げることで、真真正面にある富士山の眺望の満足感を向上させています。是非新しく整備された田貫湖富岳テラスから富士山山頂に見える「ダイヤモンド富士」や田貫湖に映り込む「逆さ富士」を御覧ください。



▲提供:景域計画株式会社



富士山こどもの国 花の谷

「富士山こどもの国 花の谷」は、**R5 景観賞最優秀賞受賞** 富士山こどもの国山野草研究会の約30年にわたる植物の保護観察、育成のボランティア活動により、富士山山麓ならではの豊かな景観が創出されています。絶滅が危惧されている植物を含む在来多種の植物を移植や種子をまいてポット苗を作って植付けするなどにより、この美しい風景が整備されました。4月~11月の間、富士山を背景にサクラソウやベニバナヤマジャクヤク、マツムシソウなど、四季折々の山野草が咲いていますので、是非富士山山麓の自然風景をお楽しみください。



▲提供:富士山こどもの国山野草研究会



岩本山公園

「岩本山公園」は富士市の南西部に位置する標高193m余りの丘陵地を利用した自然公園です。園内には、芝生大広場や自由広場など家族で楽しめる場所や、富士山や駿河湾、富士市街地などを眺望できる3か所の展望台が設けられています。また、四季折々の植物も随所に植えられていますので、梅や桜、モミジ、サザンカなどの様々な花を富士市の豊かな風景とともにお楽しみください。

▲提供:富士市交流観光課
(岩本山インスタフォトコン
2024優秀賞)

静岡県景観賞とは・・・県及び関係団体で構成する「美しいしずおか景観推進協議会」が、優れた都市景観を創出している地区等を表彰するため、昭和63年度に「静岡県都市景観賞」を設けました。平成20年度には、賞の名称を「静岡県景観賞」に改め、田園や農山漁村などにも表彰対象を拡大して実施しています。

● これまでの静岡県景観賞受賞地区はこちら→



(担当:中村友)

政策立案能力向上研修最終発表会 を開催しました



詳細は
こちら→



東部地域局は、行政、技術、教員職種等の多様な職種の職員で構成されており、今後県政の中核を担っていく若い局員が多いことから、各局員の政策立案能力の向上を図るために政策立案能力向上研修を行ってきました。本研修では、1年間をかけて、「東部地域における人口減少への対応」をテーマに、局員が各々のアプローチで東部地域の課題解決方法を調査・研究してきました。

令和7年2月18日に本研修の最終発表会を開催し、1年間の調査・研究の成果を報告しました。

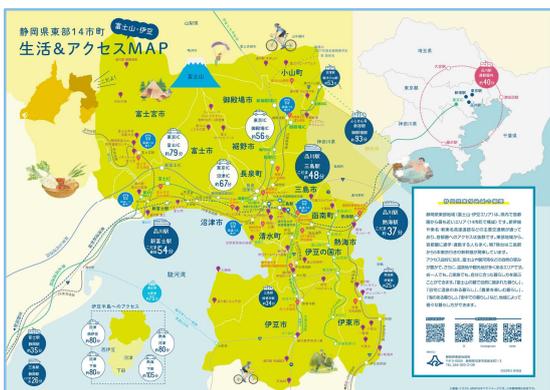
各研究の最終報告書は、東部地域局公式ホームページで公開中です。

(担当:中村友・望月)

研究タイトル	概要
静岡県東部地域における空き家を活用した地域創生戦略	空き家が社会問題となっているため、利活用できる空き家を通して、観光・防災の観点で検討を行った。移住・定住につなげることで、人口減少対策の施策を提案した。
静岡県東部におけるeスポーツを活用した人口減少への対応	eスポーツには、「高齢者の認知症や孤立化等の予防」「年齢等を問わないユニバーサルなツール」などの特徴があり、これらを生かしたシニアの移住・定住の推進につながる施策を提案した。
火山防災～火山灰の危険性と対策～	東部地域は「富士山」「伊豆東部火山群」2つの活火山があるという独自の特徴をもつ。東部地域局として、どのような火山防災対策ができるかを研究し、提案した。

東部地域の住みやすさを発信しています

こちらから
ダウンロード
できます→



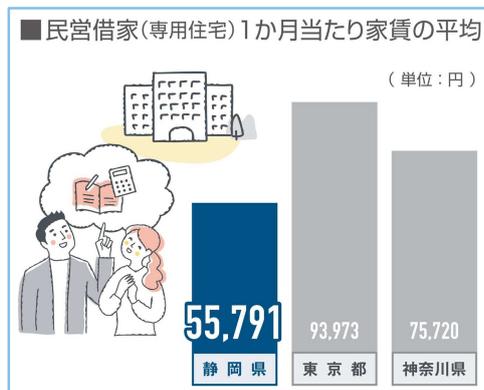
静岡県東部14市町 生活&アクセスMAP表面

また、マップの裏面では、静岡県と首都圏(東京都、神奈川県)の違いを様々な角度から具体的な数値で紹介し、静岡県がいかに魅力的な移住先であるかをお伝えしています。

東部地域局公式ホームページからダウンロードできますので、是非御活用ください。

(担当:中村勇)

東部地域局では、県東部地域への移住・定住の促進のために様々な取組を実施しています。その一環として、首都圏在住の移住検討者に県東部地域へのアクセスの良さや生活のしやすさを紹介するため、「静岡県東部14市町 生活&アクセスMAP」を作成しました。マップには東部地域の公共交通機関や地域の主要病院等を掲載し、移住相談の際に使いやすいデザインとしています。



MAP裏面から抜粋

静岡県東部地域局

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3

055-920-2139

toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

https://www.pref.shizuoka.jp/



◀ 東部地域局公式SNSでも
様々な情報を発信しています!

東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる県東部地域の14市町を担当エリアとしており、自然災害などの危機事案への対応、地域振興や伊豆半島地域の観光振興などを担っております。

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・富士市・
御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・函南町・
清水町・長泉町・小山町

